



(注)

(施工実績について)

- 1 記入する同種工事の実績とは元請としての実績とし、件数は1件とする。ただし、対象となる工事の完了日が入札公告日前の10年間に含まれること。
- 2 請負金額の( )は、共同企業体の場合の全体額を記入すること。
- 3 受注形態は、単体又は〇〇JV(出資比率〇〇%)と記入すること。
- 4 共同企業体としての実績は、出資比率が20%以上のものに限ること。
- 5 工事種類は、同種工事として評価を受ける工事の種類を記入すること。  
※土木一式工事、建築一式工事等と広義的な区分で可とする場合とボックスカルバート工事、護岸工事など狭義的な区分で可とする場合があるので、入札公告及び入札説明書を確認すること。
- 6 工事概要は、工事公告にある「工事概要」の項目等を参考に、評価基準に該当する工事であることが確認できるように記入すること。
- 7 当該工事の内容を証明できるもの(竣工時工事カルテ、契約書、図面の写し等)を添付すること。

(工事成績について)

- 1 発注者については、入札説明書で指定された者であること。
- 2 工事成績のうち最も高い点数を記入すること。
- 3 工事種類は、建設業法で規定されている28業種の種類を記入すること。
- 4 工事成績の点数が記載された通知書の写しを添付すること。

(低入札価格調査制度の適用について)

- 1 野田市が発注した工事における、過去2か年度以降の低入札価格調査制度の適用状況により評価する。
- 2 適用判断日は、低入札価格調査制度の適用となった入札日が上記期間に含まれているときとする。
- 3 工事成績とは、野田市総務部工事検査担当で評価した成績評定点。落札者となった場合に記入する。